



この通信は、高島町在宅医療・介護連携推進協議会（以下「協議会」）における在宅医療と介護の連携状況を随時お伝えするものです。

歯科医師と介護支援専門員（ケアマネ）との意見交換会を開催しました！

7月31日（水）午後7時から、げんき館において歯科医師部会主催による、歯科医師と介護支援専門員（ケアマネ）との意見交換会を開催しました。



（グループごとの意見交換会）

この意見交換会は、事前に双方の専門職から、質問や意見など集約して、集約した質問などを検討する形で行いました。

交換会は、4つのグループに分かれて、歯科の先生をグループリーダーにお願いし、在宅歯科衛生士の方にも加わっていただき、介護現場や歯科医院での疑問点や意見を話し合いました。

介護・看護の現場からの率直な質問に、歯科の先生方も懇切丁寧に答えていただき、口腔ケアの重要性を認識し、歯科医師・歯科衛生士との連携により、医療や認知症の予防にも通じることを再認識する機会となりました。

また、交換会の最後では、次年度に向けて訪問歯科診療のリーフレットの検討も行い、町民向けにわかりやすいリーフとして作成することを決定しました。

協議会「幹事会」を開催しました！

8月27日（火）午後7時から、げんき館において本協議会の「幹事会」を開催し、本年度協議会の進捗状況の報告及び今後の研修会・啓発講座の開催を協議しました。



（門脇先生の座長で進行）

協議では、事務局より今年度「全体会」開催の報告があり、続いて各専門部会から活動状況が報告されました。

- ①看護介護部会 … 寒河江部会長
- ②調剤薬局部会 … 島崎部会長
- ③歯科医師部会 … 桜井部会長
- ④医師部会 … 事務局

それぞれの専門部会長より、今年度の方針と重点事業の取り組みについて、報告されました。

看護介護部会は、引き続き定期開催することとし、入退院調整ルールを活用とつながる安心ノートの利用拡大を図ること。

調剤薬局部会は、「在宅医療における調剤薬局の役割」と題して、酒田地区薬剤師会カイエイ薬局の富樫薬局長より講演をいただき、講演では、患者へ

の接客方法や薬薬連携の重要性をお話しいただき、実際の訪問調剤指導の実例もお聞きし、在宅医療の調剤部門の関わり方は、大変参考になったと報告があった。

医師部会は、今年度の各部会終了後に開催することとし、各専門部会の疑義事項や医療に関する問題などを検討するとの報告があった。

次に、今年度の研修会・啓発事業について協議し、多職種研修会については、昨年同様に「見える事例検討会」を10月2日(水)午後7時から開催することで調整する。

専門的な医療系研修会の開催は、口腔ケアに関する歯科系研修会を開催するとの、報告があった。

町民対象の啓発講演会については、過去開催して好評であった山大医学部腫瘍内科医師による「人生の終い方パートⅡ」として残りの2地区で開催する。

以上の協議事項を決定し、引き続き「認知症初期集中支援チーム検討委員会」に移行して会議が進められました。

多職種合同研修会「見える事例検討会」開催

多職種合同研修会 在宅・介護連携「見える事例検討会」は、10月2日(水)午後7時からげんき館において開催しました。

認定ファシリテーター野崎俊介君、岡井厳治君の2名の進行により、事例提供者の居宅介護支援事業所かたくりの会管理者 佐藤美香さんからの説明によって進められました。参加者は、50名で関係者としてNPO法人かたくりの会ディーサービス生活相談員、老人福祉相談員の方も参加しました。この「見える事例検討会」とは、目的である①課題解決②援助技術の向上③ネットワーク構築の観点から、多職種、多部門の参加者の皆さんの「知を結集」して解決していく事例検討の手法です。

今回の事例は、公立高島病院から退院する患者が自宅で療養生活を送ることでの関係者の関わり方や今後の方向性などがケアマネージャーから経過と現状について報告があり、専門職の皆さんが専門分野の観点から質問やアドバイスをしていき、解決の糸口を見つけていこうとアクションプランを作っていました。



(ファシリテーターによる検討会)

「看護・介護部会」からの報告！

令和元年度の看護介護部会は、5月22日(水)、7月10日(水)9月11日午後2時から、公立高島病院会議室において開催し、5/22は、本年度の事業計画の検討と、困難事例を検討する仕組みづくりを進めていくことを確認しました。

7/10 協議内容

① 入退院調整ルールについて

退院時情報提供書の活用状況

② 服薬に関する支援を協議

③ 情報の共有

つながる安心ノートの利活用

・4件→11件に増えた

9/11 協議内容

① 入退院調整ルールについて

② つながる安心ノートの利活用

・現時点で15件まで増えた

以降は、奇数月の第2水曜日開催する。

通信コラム 高島ふれあいケアセンター ケアマネージャー 船山明美さん

地域包括ケアシステムが進められる中、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、多職種の専門職が一堂に会した「見える事例検討会」に参加しました。専門的な立場や情報収集から課題を見つめ直していくことは、ケアマネージャー自身の自己研鑽にも繋がり、大変有意義な研修会だったと思います。

今後とも、多職種全体がより一層繋がれる研修会の開催を期待します！